

2022年10月3日

産地見学学習会

『わくわく卵いろいろパックの主産地』

北坂養鶏場さん

主催 伝法ハル委員会



淡路島にある北坂養鶏場さんはコロナが蔓延していた2020年11月に鳥インフルエンザにより一度すべての鶏を殺処分、いちから頑張って再建されました。そして再び卵を出荷できるまでになったとこので見学に行かせていただきました。

北坂さんのわくわく鶏(わくわくたまご)は純国産鶏です。これは国内飼育のわずか4%ほどだそうです。もちろんエサは遺伝子組み換えしていないトウモロコシ、それに淡路島で採れる牡蠣の殻(これは小石の代わり)、季節によっては廃棄される小魚や、醤油の搾りかすなどが食べても問題のないものをあげています。鶏舎は高床式になっていました。

一階部分におがくすがひいてあり鶏糞と混ぜ発酵させることで肥料へとリサイクルしています。

清潔で鶏舎のにおいも少なく北坂さんの鶏への愛情を感じることができました。

採れた卵はすぐにパック詰めされ、15分後には冷蔵庫に保管されています。このままトラックにつまみまわし、一度も冷蔵庫から出ることなく私たちの手元に届きます。温度差がよくないらしく生協さんから届いたら早めに冷蔵庫に入れてほしいと言われていました。

美味しくて、安心して食べるこのわくわくたまご卵、ぜひ皆さんも試してみてくださいねー♡

こぼれ話

交流の途中、消防車のサイレンが鳴りそれを気にする北坂さん。地域の消防団の副団長との事。地域の皆さんとも普段からつながっている事で地元の人にも応援してくれているそうですよ!



実は、ぼくはたまご屋じゃないんです。元気な鶏を育てることがおいしい卵につながっています。



↑ 高床式の鶏舎



さくら卵いろいろパック

直売所もあります



このたまご、しよつかな?